空き缶拾い等美化活動

8月10日「道の日」には道路清掃等を実施しているが、県川内土木事務所でも各課から職員40人が参加、空き缶拾いなどの道路美化活動を実施した。

今年から旧宮之城土木管内も含まれることから、6班編成で川内市内の県道川内加治木線や国道267号、宮之城町紫尾・虎居交差点の国道328号、入来町副田の国道328号など活動も広範囲に及んだ。

川内市中郷町の国道267号沿線では分別用のごみ袋をもって空き缶などを回収して歩いた。

道路清掃の合間に記念撮影＝川内市中郷町の国道267号で

キョクヨウ・友愛会

住宅地の雑草除去

㈱キョクヨウ（山野秀明社長、姶良郡加治木町）と安全協力会友愛会（会長・秋丸紘一マルサン工業㈱社長）では10日、「道の日」にちなんで姶良郡蒲生町の温泉付き分譲住宅「おおくすタウン」内の道路清掃や県営住宅などの雑草の除去作業に取り組んだ。

作業を前に山野社長は「道路は生活を送る上で欠かせないもの。感謝の気持ちを込めながら作業に当たってほしい。また、日差しが強いので熱中症対策のために十分に水分を補給してほしい」と挨拶。続いて秋丸会長が「暑い中、大変な作業になると思うが、安全に留意して作業に当たってほしい」と激励した。

参加者らは、県営や町営の住宅フェンス周辺に生い茂る雑草の除去作業のほか、公園内を流れる滝や池の清掃など4班（25社40人）に分かれてそれぞれ担当場所に移動。懸命に作業に当たった。

歩道の清掃を担当した栗山幸博さん（立山アルミニウム工業）は「地域の人々に喜んでもらえると思えばやりがいがある。機会があれば今後も積極的に参加したい」とさわやかな汗を流していた。

注意を払いながら作業に当たる参加者＝蒲生町の「おおくすタウン」で

種子島全域で熊建ら

カーブミラー150本清掃

㈱熊建（熊谷慶喜社長）と㈱カーネギー産業（平石宣吉社長）は10日、道の日にちなみ種子島内全域のカーブミラー清掃や草払いなどのボランティア活動を実施。作業によりカーブミラーが見やすくなり、地域住民から喜ばれた。

当日は、両社から10人が参加。午前8時30分に

作業を前に記念撮影する両社員＝西之表市の市営グラウンドで

カーネギー産業

地域環境美化に貢

地域の環境美化に役立てば―と、㈱カーネギー産業（平石宣吉社長、鹿児島市）は7日、㈲福永組（福永勝男社長、姶良郡姶良町）など関連企業8社とともに、本社周辺の清掃作業を実施した。

同社では毎年、安全大会終了後に恒例の清掃作業を実施している。今回も先月9日に作業を予定していたが、天候不良のためにこの日まで順延していた。作業には35人が参加し、産業道路沿いの歩道や街路樹を中心に空き缶拾いや雑草の除去に汗を流した。

参加者らは日中の強い日差しにもかかわらず、約1時間にわたり清掃作業に従事した。今回作業に参加した前田佳克さん（カーネギー産業総務部システム開発主任）は「地域の美化に少しでも役立てばとの思いで参加した。気持ちのいい汗でした。今後も積極的に参加したい」とボランティアの魅力を語った。

塗親会第1回チャリティーコンペ

松岡優勝さんが募金は交通遺児らに

県内の塗装業関係者33社で結成する塗親会（大平集一会長、㈲大平塗装店社長）は10日、鹿児島郡吉田町のゴールデンパームカントリークラブで第1回チャリティーゴルフコンペを開き、会員24人が参加して熱戦を繰り広げた結果、松岡直光さん（㈱松美研）がグロス90、ネット72で見事優勝した。

当日は絶好のゴルフ日和の下、午前8時30分から計6組がスタート。参加者は各ホールで繰り出されるショットに一喜一憂し、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。

和やかに行われた表彰式＝吉田町のゴールデンパームカントリークラブで

今回のコンペは、社会に何か貢献したいとの想いから、同会として年6回開催しているゴルフコンペの中で、初めて実施されたもの。今回集められた募金は交通遺児らに対して寄付する予定。表彰式に先立ち、大平会長は「ゴルフを通じて、何か社会に役立つことができれば幸いです」と語った。

主な成績は次の通り。

優勝＝松岡直光▽準優勝＝松崎啓行（関西ペイント㈱）▽3位＝坂之上建一（㈲坂之上板金塗装）

廃棄物処理法等講習会

業界の現状踏まえ解説

㈱かごしま産業支援センター（吉留史郎理事長）と中小企業基盤整備機構の共催による廃棄物処理法・建設リサイクル法講習会が11日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで開かれ、受講者は関係法令の適切な対応に向けて理解を深めた。

会では、建設業や製造業、産業廃棄物業等を中心に関係者約340人が聴講。開会にあたって、竹中統一郎㈱かごしま産業支援センター情報支援課長が「環境負荷の少ない循環型社会を形成していく中で、この講習を意義あるものとし、今後の業務に役立てていただきたい」と挨拶。

講習ではまず、松岡力雄㈱環境政策研究所代表取締役CEOが廃棄物処理法について業界の現状を踏まえ解説。「許可業者が増加する中、不法投棄が後を絶たない状況。委託基準の強化や事業者と収集運搬業者、中間処理業者による二者契約の原則など、その防止に全力をあげている。適正な処理を行うために現

関係法令について学ぶ受講者＝鹿児島市のかごしま県民交流センターで

在、マニフェスト（産業廃棄物管理票）の交付が義務付けられており、違反者には厳しい罰則が課せられる」などと注意を促した。

また、建設リサイクル法では千葉任中小企業基盤整備機構経営支援専門員が講義。施行状況や法制定の経緯について説明したほか、「大きな柱として、建設工事における分別解体と再資源化等の義務付け、発注者・受注者の契約など手続きの整備、解体工事業者の登録制度の創設の3点があり、建設リサイクル推進の骨格を成している」などと説明した。

建設業の詳しい情報は…
無料体験実施中
http://www.kc-news.co.jp
業者格付・県・市町村予算・発注予定工事 等々情報は盛りだくさん
お問い合わせ：099-222-612